

さくらおろち湖を 活かした地域振興の徹底を

町長 地域や関係団体の皆さんと
協力をして、取り組みます



問 中国横断自動車道尾道松江線は、三刀屋木次インターから吉田掛合インター間が平成23年度に、吉田掛合インターから三次インター間が平成24年度に開通が予定されています。そこで、町内幹線道路のアクセス整備について、次の4点について伺う。
①国道432号の阿井地内の上阿井大橋から新大森橋間に歩道の設置をすること。県境から榎原トンネル間の線形改良と冬季の雪対策を行うこと。

②吉田奥出雲線、掛合上阿井線の未整備箇所の改良促進の考えは。
③国道314号の部分改良として、細越峠の改良整備の考えは。
④それぞれのインターへ、また、インターからの誘導案内標識の点検と整備を。
答 ①歩道の設置や線形改良は、歩行者や通行車両の安全確保の上から重要な事柄と考えています。これまででも県に対し要望を行っていますが、事業化の目途が立っておりません。早期な整備につながるよう継続して要望を行って参ります。また、冬期間の雪対策も万全を期す必要があります。現在、暮地地内で県事業として防雪対策工事を施工中ですが、引き続き王貫峠に向けて改良をお願いし除雪などに支障が出ない国道整備を要望して参ります。
②雲南圏域の幹線道路改良整備促進期成同盟会の組織などの活動により連

携して要望を続けて参ります。部分的な改良整備は継続して続けていきたいと考えています。
③既に二車線の歩道付き改良が終わっていることもあり、なかなか難しい。急勾配の登坂車線箇所として訴えていきたいと考えています。
④近々、土木事業所との事業調整会議等の予定もあり、議題としてみます。
問 さくらおろち湖を活かした地域振興について伺う。
①県、雲南市また推進連絡協議会と協調した共同イベントの開発と支援は。
②サイクリング並びにポート施設の地域への開放策は。
③ダム湖の紹介の徹底を。
④交通手段の開発を。
⑤撮影スポットの設定と標示の気遣いを。

設の有効活用については関係機関と協議を進め、いろんな活用方法を考え、土曜、日曜、週末には奥出雲を満喫して帰っていただく仕掛け作りが必要と考えます。
③全町民に対しての、ダム湖や周辺地域について理解を深めていただく総合パンフレットなどについては検討してみます。
④ダム周辺に限らず、斐伊川の原流域からバスで巡り、神話の川をアピールするなど、いろんな方法を考えてみます。
⑤魚釣リスポットについては開発と標示の計画を聞いている。撮影スポットもNPOの事業として取り組んでもらいたいと思いますが、また周辺道路等に通行人の箇所もあり、全てが自由に散策いただける来年4月以降のところで、関係団体、地域の写真愛好者の皆さんと協力しながら取組みを進めたく考えます。